

東白川村議会活動情報誌



くらしと議会

■発行 東白川村議会 ■編集 議会報編集委員会 ■住所 岐阜県加茂郡東白川村神土548 ☎0574-78-3111(代) ■URL <http://www.vill.higashishirakawa.lg.jp/> ■E-mail 507gikai@vill.higashishirakawa.lg.jp

第二回定例会
平成二十三年六月二十九日
加速する村政、活性化する議論
地域再生と未来に向けて

「機動性を生かした 小回りのさく さくの細かい村政」 主な議事内容は以下の通りです

- ◆【報告関連】
- ◆例月出納検査結果
- ◆繰越明許費繰越計算書
- ◆【条例改正関連】
- ◆東日本大震災に係る税特例
- ◆工口ピア住宅 十棟→六棟
- ◆【補正予算関連】
- ◆一般会計・特別会計
- ◆【総合】人事に関わる人件費関連・総合行政情報システム関連
- ◆【総務費】村民センター耐震工事関連
- ◆【民生費】みまもり地域巡回車両・ほのぼのスプリンクラー・乳児用AED
- ◆【衛生費】加茂休日急患診療所負担金・太陽光発電システム補助
- ◆【農林水産業】オートキャンプ場飲料水水质改善装置
- ◆【土木費】フラットハイム修繕工事
- ◆【消防費】消火栓仮設
- ◆【簡易水道・徴収費】ハンディターミナル関連
- ◆【議会推薦】
- ◆農業委員会委員四名
- ◆【その他】
- ◆一般質問六名
- ◆議員派遣
- ◆十件の報告と二件の新規派遣

その他、新規消火栓設置・加茂管内休日急患診療所周知・公の施設での水质検査徹底等、議員より村民の安全安心に関する質問が出されましたが、同日全ての議案を可決承認し、今年度の村政を再起動致しました。

森林組合との懇談会

七月六日、議会・行政と森林組合役員・幹部職員との懇談会を可茂農林事務所担当者の臨席のもと行ないました。

国が提示した「森林・林業再生プラン」では、十年後の木材自給率を五十%以上とする目標が設定されました。

このプランを実現するために、路網の整備、森林施業の集約化等を推進するための森林整備補助金制度の大幅な変更がありました。

しかし、この制度の変更は、整備が進んでいる東白川村においては、対象地の集約が難しく、事業の激減が予想される説明がされました。

これを受け、間伐の停滞と、雇用の損失につながる深刻な事



質問

・災害に対しての備えについて
・雇用と通勤支援について
・臨時職員の資質管理と向上について

一点目は災害に対しての備えについて質問します。村の財産のうち、即戦力となり得る災害用の備蓄は十分でしょうか。

次に、インフラ整備について防災無線などの老朽化や、屋外緊急放送設備の不備など、十分な体制とはいえないところもあるように見受けられます。早急に、整備していくお考えはあるのでしょうか。また、災害時には組織立って行動がとれる消防団の存在はとても重要だと思われま



森林組合との懇談会の様子

態を危惧し、制度の見直し等を、国会議員、県議会議員に「要望書」を提出することに致しました。

答弁 安江眞一村長

大災害の予想があると、現状で十分に備えがあるとは思っていません。しかし、できることから整えていかなければなりません。各集落が孤立することもあり得ると考えています。その場合、どんな施設や人材が必要か、完璧に準備するのが理想ですが、少しでも理想に近づけるよう努力しているところです。

消防団員の待遇や団員確保については、これは村だけでなく、県全体で何らかの優遇措置を検討する時期に来ていると考えています。県の考え方を検討し、



質問

・これからの東白川村について

これからの東白川村について質問をします。

合併ありきで進められてきた村政から、合併が破綻に終わり、十八年度決算では、実質公債費率も二六・五%、県下ワースト一位という結果で、行政関係者のみならず村民全体に大きな衝撃を与えました。村政運営に大きな支障をもたらしたことは言うまでもありません。そこで、本村の財政体力の弱さを思い知らされ、その後、財政健全化、行政改革、地方債の抑制に取り組み、今日では公債費率も一六・七%、財政調整基金も五億八千万円を積み立てられたことに対しては、大変な御苦労であったと思います。しか

取り入れられるものは参加してまいりたいと考えています。

村営住宅については、今後働く場所が関係なく、一律にしていきたいと思っております。今年度予算の二棟の入居募集から全体を実行していきたい。今まで住んでみえる方が不利にならないようにしていきたいと思っております。

また、村外への通勤費用の支援については、今のところ村外への通勤費の補助ということとは考えてはおりませんが、今後研究をさせていただきます。

それから、職員の雇用については、雇用促進の場だけではなく、それぞれの職員の持つ技術や資格の流出を防ぐために待遇改善を行ってまいりました。これからの、待遇改善とともに、スキルアップは当然のことと考えています。

答弁 安江眞一村長

私が村長になって以来、交付税のあり方が少し変わってきて、依存財源ながら、村の活性化のために様々な事業を起しているところです。

まだまだ安心できる状態ではありませんが、村を限界自治体にさせないことはもちろん、地産地消を合い言葉に、村民が助け合い、明るく、仲よく、心豊かに暮らせる東白川村を築いていくことが、私の務めだと思っております。地域経済振興事業を中心とした村内森林及び木材関係事業の活性化、荒廃農地をつくらないための農地流動化奨励事業や、特産品の生産支援、商工業の支援、医療・福祉は、療養病床を転換型老人保健施設へ転換し、充実する。村民を増やすための定住促進住宅を建設する。そして、東白川村が伝統文化をみずから守り、発展をすることを望む。それから、自然のエネルギーを利用していくという東白川村しかできないようなことをやっていかなくてはならないと思っております。今後とも、この事業を進めながら、村民が楽しく暮らせるように、七月十三日から認定を受ける「日本で最も美しい村連合」にこれに加入することも、この思いに一致するものであると考えています。

一般質問

第2回議会定例会で、6人の議員から村政全般についての質問が行われました。

一般質問は裏面に続く



今井保都議員

質問

・資源の活用について

今世の中は原発から脱却し、自然エネルギーへの転換や再生エネルギーの開発が求められています。太陽光、風力、バイオマス、地熱、水力等を利用すべきだと言われています。村は、山と川の資源が豊富にあります。これを活用し、水車などを利用した小規模発電や、川の流れを利用した水力発電、また森林では、間伐された木材を切り捨てにしているのが現状です。それを地域でどう活用すべきかを考える必要があると思います。

また、加子母に整備された合板工場が四月一日より正式稼働しておりますが、材料である原木を安定供給し、着実に稼働率を上げることが岐阜県に求められていると思います。工場に一番近い村の果たす役割もあると思われませんが、いかがでしょうか。

今後村では、自然エネルギーを生かすための手だてをどのようにお考えか村長に伺います。



村雲辰善議員

質問

・県道恵那経川東白川線の整備推進について
 ・地震や豪雨時の集落孤立の恐れについて
 ・再生可能なエネルギーへの転換を見こした新エネルギー特区についての提言

雨天時、サビ谷沿いの山側斜面より、県道への流水がひどくなり危険な状態になっていきます。同地内では、大きな土砂災害も発生していますし、通学路でもあるため、畑雑橋付近の拡張とともに、現在の整備予定に

る食料や医薬品の備蓄状況について。以上三点を伺います。

最後に、この村は小さな村ですが、小回りのきく小ささをプラスとし、特例による再生可能なエネルギーの導入を図るとともに、中山間地や林業地としての特性を生かした再生可能なエネルギーを推進するような新エネルギー特区としての取り組みが、今年度講習会を開き、来年度はどこかで実現したいと思っています。水力発電には規制もあるため、クリアできるような努力したいと考えています。原子力発電が、一気に自然のエネルギーにかわると思っておりますが、私たちにできることから少しずつやるのは当然のことであり、今後努力をしていきたいと思っております。

安江眞一 村長

合板工場に対しては、原料の供給をすることにも、できることから理解し、協力していきたいと考えています。また、先日、齋藤専務理事に会い、八月の加茂郡村会の視察研修をお願いしてきました。現在では、杉だけではなく、ヒノキの合板もつくっておられるようでございます。そして、地元の建築業者にも販売をしていただくようようお願いをいたしました。

自然エネルギーの特区分想は大変ユニークであると思えます。今後、村でも研究をさせていただきたいと思っております。



服田順次議員

質問

「日本で最も美しい村」連合への加盟に手を挙げられたことについて、伺います。

「日本で最も美しい村」連合への加盟に手を挙げられたことについて、伺います。村長は、平成二十三年度予算編成基本方針で、人口対策の一助ということで、東白川村を美しい村にして、後世に伝えるよう努力したいということであり、私も、加盟については大賛成でございます。インターネット等資料にありまして、目

小池産建課長

本村における道路の崩壊によって孤立すると予想される集落については、現在六集落を県に報告をしています。場所は、大口、曲坂、黒淵、久須見、平の前山、それから西洞の押場といふことで、孤立予想集落台帳というものが掲載されています。また、定期的な道路パトロールや道路支障通報による早期対応と、それから道路に隣接していません山や川といったところに対します。それから急傾斜対策等の推進も併用しながら道路の崩壊対策を考えていきたいと思っております。

松岡総務課長

集落の食料や医薬品の備蓄状況ということですが、各自治会での備蓄というのはまだこちらでは把握していませんが、各家庭でいくらか持っていていただいているかという状況です。

防災センターでアルファ米を備えている程度で、医薬品については、それぞれ防災センターに一箱ずつ救急箱を設置のみにとまっております。

「日本で最も美しい村」連合の加盟について

的は、この連合はすばらしい地域資源を持ちながら、過疎にある美しいまちや村が「日本で最も美しい村」を宣言することで、自らの地域に誇りを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと、住民によるまちづくり活動を展開することで、地域の活性化を図り、地域の自立を推進すること、また生活の営みによりつくられてきた景観や環

境を守り、これらを活用することで、観光的付加価値を高め、地域の資源の保護と地域経済の発展に寄与することを目的とする。ことがうたわってあります。東白川村にとっては、最も射した連合であると思えます。

しかしながら、審査合格には、加盟されてみえる三六町村三地域を見ますと、相当厳しいのではないかとふうに思われます。そこで、日本で最も美しい村連合への審査に対しての姿勢は、またそれに加盟できたときは、それをどのように活用するか、描いておられるか、できれば具体的に答えを伺います。

安江眞一 村長

この加盟の目的は、村の美しい緑の山やきれいな白川や、茶畑の景観を守るとともに、伝統文化を守り、ふるさとに誇りを

国の介護保険行政は、財源不足などから在宅介護に比重を高めています。ひとり暮らし、高齢者のみの家庭も多い村の現状から、高齢者が住みやすい住宅環境をつくる手助けが必要だと思えます。介護保険でも、これを手当てしていますがわずかで

すし様々な制約があります。村として、独自の住みよい環境をつくるような補助を考える必要があるのではないかと、この辺をどう考えてみるか伺います。次に、ひとり暮らしの高齢者の安否確認と不慮の事故、病気の緊急通報システムの整備について伺います。ひとり暮らしの方とは、どこかで倒れられたり、急に動けなくなるとい

持つ、持続可能なふるさとづくりでございます。少し抽象的になりましたが、本音は村民のモチベーションを上げること、交流人口の増加、特産品である林産物、加工品などに美しい村連合のロゴマークを使ってイメージアップをしてほしいと考えております。

加盟のハードルはかなり高いと思いますが、上辺を飾るだけでなく、ありのままの姿を見ていただくという考えです。白川茶をつくる、そして飲む文化、そして伝統芸能であります歌舞伎、特徴あるお寺のない村などをアピールしながら、審査に臨みたいと考えております。これに参加して少しでもイメージアップと、今後の村の育成にしたいの励みにしたいと思っておりますので、どうか御協力をよろしくお願いいたします。

村の人口減少と高齢化に 対応した福祉について

うことがあります。そのときに、何らかの形で知らせる方法の構築を考えていく必要があるのではないかと考えます。

三番目に、高齢者に対して尿のくみ取り券等の割引券、あるいは生ごみの袋等の減額配布、それからテレビの視聴料と水道料等少しづつの軽減をすることはできないかということですが、これは行政でお金がかかることですが、美濃加茂市あたりでは、もう設置をされています。触れ合いの場というサロン形式のものです。商業施設とタイアップをしたようなサロンなど、お年寄りの皆さんが気軽に集まれる場所を提供する必要がありますが出てくるのではないかと

います。以上、東白川村の人口構成の現状から、早急に、重点的に進めていかなければならない福祉行政について、村長のお考えを伺います。

安江眞一 村長

本日に人口の減少ということ、何を一つとっても悩みの種であります。それで、何とか歯どめをどうということですが、思うに任せないというのが現状です。少子・高齢化の将来については非常に危惧をしています。

住宅改修等は、介護保険で対応しております。介護保険で不足するような場合は、議員提案のように、村独自の補助も必要になる場面があるのではないかと、覚悟をしております。老人のサロンとか、老人の集まる場所、そしてまた老人の住まわれる住宅、こういうものは今後研究をしていかなければと思っております。

なお、公共料金の補助については、それぞれの料金の性格が違いますので、今後研究をさせていただきますが、資源袋は無料にいたしました。ごみ袋は、いまだに高いままです。当然、これに老人介護の、例えばおむつとかいうものを入れなくてはならないという場合もありますので、こういうものには、今後研究をし、配慮をしていかなければと思っております。これは、ほかの議員さんからもお聞きをしておりますので、このことについては、今後研究をさせていただきます。今後とも、よろしくお願いを申し上げます。

議員のひとことば
お休みします。